

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成27年2月12日 (2015.2.12)

【公開番号】特開2014-113137(P2014-113137A)

【公開日】平成26年6月26日 (2014.6.26)

【年通号数】公開・登録公報2014-033

【出願番号】特願2013-9332(P2013-9332)

【国際特許分類】

C 1 2 N 1/20 (2006.01)

A 6 1 K 35/74 (2015.01)

A 6 1 P 25/02 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/12 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 2 3 L 1/30 (2006.01)

A 2 3 K 1/16 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 1/20 A

A 6 1 K 35/74 A

A 6 1 K 35/74 C

A 6 1 K 35/74 G

A 6 1 P 25/02 1 0 7

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 1/12

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 1/04

A 2 3 L 1/30 Z

A 2 3 K 1/16 3 0 4 B

【手続補正書】

【提出日】平成26年12月17日 (2014.12.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ラクトバチルス・ガセリCP2305s株 (NITE BP-1405)、又はラクトバチルス・ガセリCP2305株 (FERM BP-11331) もしくはCP2305s株から派生した派生株。

【請求項 2】

ラクトバチルス・ガセリCP2305s株 (NITE BP-1405)、又はラクトバチルス・ガセリCP2305株 (FERM BP-11331) もしくはCP2305s株から派生した派生株、それらの菌体処理物、或いはそれらの混合物、を有効成分として含有することを特徴とする、腸管での水分過剰分泌、ストレス性腸障害、過敏性腸症候群又は、炎症性腸疾患の軽減剤。

【請求項 3】

前記CP2305s株、又はラクトバチルス・ガセリCP2305株 (FERM BP-11331) もしくはCP2305s株から派生した派生株が、生菌体又は殺菌体である、請求項2に記載の軽減剤。

【請求項 4】

前記菌体処理物が、乾燥菌体、破壊菌体、破砕菌体又は発酵乳である、請求項2又は3に記載の軽減剤。

【請求項 5】

ストレスによる骨盤（副交感）神経活動の抑制を阻害する作用を有する、請求項2～4のいずれか1項に記載の軽減剤。

【請求項 6】

大腸クロライドチャンネルを抑制することによって水分分泌を抑制する作用を有する、請求項2～5のいずれか1項に記載の軽減剤。

【請求項 7】

ストレス性下痢の改善剤である、請求項2～6のいずれか1項に記載の軽減剤。

【請求項 8】

ラクトバチルス・ガセリCP2305株（FERM BP-11331）又はラクトバチルス・ガセリCP2305s株（NITE BP-1405）と同等以上のストレス性腸障害の軽減作用を有し、かつCP2305株と異なる乳酸菌。

【請求項 9】

前記ストレス性腸障害の軽減作用が、明細書の実施例3記載の下痢スコアでラクトバチルス・ガセリCP2305株（FERM BP-11331）又はラクトバチルス・ガセリCP2305s株（NITE BP-1405）と同等以上のストレス性下痢抑制作用を有する、請求項8に記載の乳酸菌。

【請求項 10】

明細書の実施例3記載の方法によって下痢スコアを評価した場合においてプラセボと比較して有意（ $p < 0.05$ vs プラセボ）にストレス性下痢を抑制しかつCP2305株と異なる乳酸菌。

【請求項 11】

氷上で5時間保持したときの生存率が、60%以上である低温耐性を有する、請求項8～10のいずれか1項に記載の乳酸菌。

【請求項 12】

ストレスによる骨盤（副交感）神経活動の抑制を阻害する作用を有する、請求項8～11のいずれか1項に記載の乳酸菌。

【請求項 13】

大腸クロライドチャンネルを抑制することによって水分分泌を抑制する作用を有する、請求項8～12のいずれか1項に記載の乳酸菌。

【請求項 14】

上記乳酸菌がラクトバチルス・ガセリ種に属する乳酸菌であることを特徴とする、請求項8～13のいずれか1項に記載の乳酸菌。

【請求項 15】

上記乳酸菌がラクトバチルス・ガセリCP2305s株（NITE BP-1405）、ラクトバチルス・ガセリCP2305株（FERM BP-11331）の派生株又はラクトバチルス・ガセリCP2305s株（NITE BP-1405）の派生株である請求項8～14のいずれか1項に記載の乳酸菌。

【請求項 16】

腸管での水分過剰分泌、ストレス性腸障害、過敏性腸症候群、下痢型過敏性腸症候群又は炎症性腸疾患の予防又は軽減に用いるための請求項8～15のいずれか1項に記載の乳酸菌。

【請求項 17】

乳酸菌を10℃以下の温度に曝露し、生存した低温耐性株を選抜し、育種すること、必要に応じてこの操作を繰り返すこと、及び生存した低温耐性株を回収することを含む、乳酸菌低温耐性株の製造方法。

【請求項 18】

乳酸菌がラクトバチルス・ガセリ種に属する乳酸菌、又はラクトバチルス・ガセリCP2305株（FERM BP-11331）である、請求項17に記載の方法。

【請求項 19】

氷上で5時間保持したときの生存率が、60%以上である低温耐性を有する、乳酸菌。

【請求項 20】

上記乳酸菌がラクトバチルス・ガセリ種に属する乳酸菌であることを特徴とする、請求項19に記載の乳酸菌。